

## 令和2年度 行政管理栄養士政策能力向上シンポジウム 開催要領

目 的	近年、日本各地で地震や風水害等の自然災害が予測もしないスケールで国民生活に不安と衝撃を与えている。東日本大震災から被災地へ行政栄養士の派遣が始まり、被災者の栄養・食生活支援活動が重要視されている。また、支援活動は行政栄養士の他、日本栄養士会(JDA-DAT)や災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)からの支援を行う体制が整備されてきている中、被災地での受援調整や平常時の体制づくりが重要となる。そこで、平成30年度から地域保健総合推進事業「大規模災害における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究」の成果を報告するとともに、今後の体制を推進する一助とすることを目的とする。
主 催	日本公衆衛生協会
開催日時	令和3年2月5日(金) 午前10時から午後4時まで
会 場	AP 東京八重洲 P会議室 先着80名(先着280回線までオンライン(Zoom)による参加も可能)
対 象 者	1 都道府県及び市区町村に勤務する職員(事務職員(防災担当、食事調達担当等)、保健師等) 2 都道府県・指定都市・中核市・政令市・特別区が設置する保健所及び本庁、市町村に勤務する管理栄養士、栄養士
参加費	無 料
参加申込	日本公衆衛生協会ホームページ( <a href="http://www.jpha.or.jp/">http://www.jpha.or.jp/</a> )にアクセスの上、参加申込フォームよりお申し込みください。 【申込締切】令和3年1月15日(金) 先着順 ※定員になり次第、締め切らせていただきますので予めご了承ください。
内 容	<p>1 10:00 開 会  主権者挨拶 : 日本公衆衛生協会 理事長 松谷 有希雄 氏  来賓挨拶 : 厚生労働省 健康局長 正林 督章 氏</p> <p>2 10:10~12:00  シンポジウム 「令和2年7月豪雨災害、新型コロナウイルス感染下での災害時栄養・食生活支援活動について」</p> <p style="padding-left: 2em;">座 長 : 愛知県一宮保健所 所長 澁谷 いづみ 氏  お茶の水女子大学 准教授 須藤 紀子 氏</p> <p style="padding-left: 2em;">助言者 : 厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長補佐 齋藤 陽子 氏</p> <p style="padding-left: 2em;">①「新型コロナウイルス感染下での災害支援(受援)について」(仮)  報告者 熊本県人吉保健所 所長 劔 陽子 氏</p> <p style="padding-left: 2em;">②「熊本県人吉保健所での栄養・食生活支援活動(受援)について」(仮)  報告者 熊本県人吉保健所 主任技師 示野 響子 氏</p> <p style="padding-left: 2em;">③「県外からの栄養・食生活支援活動(応援)について」(仮)  報告者 岡山県保健福祉部健康推進課  副参事 塩飽 朱実 氏</p> <p>3 13:00 研究事業報告  「大規模災害における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究」  座 長 : 国立保健医療科学院 上席主任研究官 奥田 博子 氏  国立健康・栄養研究所 国際災害栄養研究室長 笠岡(坪山) 宜代 氏</p> <p style="padding-left: 2em;">助言者 : 厚生労働省健康局健康課栄養指導室 室長補佐 齋藤 陽子 氏</p> <p style="padding-left: 2em;">① 大規模災害時の栄養・食生活支援活動に係る地方自治体の準備状況について  ② 大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン改訂について  ③ 大規模災害時の栄養・食生活支援のためのアクションカード(例)について  ④ 大規模災害時の栄養・食生活支援活動従事者の人材育成について</p> <p>4 16:00 閉 会</p>